

5. 資料集

<熊野神社式年大祭 資料>

(1) 熊野神社式年大祭 役割分担表

宮司：志田隆人
 顧問：濱守千代吉
 委員長・総代長：熊谷 真
 副委員長：志田 保（総務）／菊池平八郎（総務）／小松 基（会計）

祭り組実行委員長

- ・梅神組：細川文規
- ・小河原組：羽根川弘道
- ・門中組：新沼利雄
- ・西館組：村上征一
- ・碁石組：吉田力男
- ・三十刈り：尾崎安弘
- ・山根組：磯川信一

熊野神社式年大祭行列順序	
行き	帰り
1梅神組	1梅神組
2山根組	2小河原組
3小河原組	3門中組
4三十刈組	4碁石組
5西館組	5西館組
6門中組	6三十刈組
7碁石組	7山根組

(2) 熊野神社式年大祭御幸行列予定時刻と経路図

7:30：受付 客殿前 御神幸行列参加関係者集合 各部署につく
 7:40：各組は、受付後、到着順に社殿前で舞を奉納 8:40 まで
 8:20：式年大祭祭儀 社殿 儀式関係者 御六尺
 9:00：行列呼出 繰出し 儀式関係者 御六尺 奉納者 郷土芸能
 10:30：御旅所儀式（泊里浜漁港）各組奉納催事披露（碁石組車で進行）
 11:00：海上渡御 麻腐島折返
 警備船
 指揮船：丸太丸
 八幡神社 猿田彦：榮丸
 八幡神社 梵天：進洋丸
 八幡神社 御召船：大浜丸／第二わかめ丸
 熊野神社 猿田彦：第八康生丸
 熊野神社 梵天：幸福丸
 熊野神社 御召船：第八大浜丸／満漁丸
 特別出演 末崎小学校児童による「良さこいソーラン」
 12:00：御旅所（泊里浜漁港）下船
 昼食 各組奉納披露 14:00 まで
 14:00：御旅所（泊里浜漁港）発 行列を組み繰出。社殿還御 15:00 着



(3) 熊野神社式年大祭 用語について>

① 御神幸行列

神社の神輿を若者たちが担いで神社を出発し、町内に繰り出し、神社へ戻る行列を御神幸行列という。神輿の前後を、神官、纏、旗、奉納舞装束、囃子方装束、稚児、婦人、山車など、ご神体をお護りする行列が連なり、厳かな中にも壮麗さと賑わいがあり華やか。出発時の儀式を渡御の儀といい、神輿へご神体を移す儀式は白布で覆われて行われる。神輿が神社に戻ると還御の儀を行う。

② 御六尺

祭りの場合の六尺とは、神輿の担ぎ手のことを指す。中森熊野神社の場合は、神輿3台と賽銭箱、塩まきなどで御六尺は 48 人とされ、各祭り組が分担した。

③ 御旅所

御神幸行列で神(神体を乗せた神輿)がお休みする場所を御旅所という。今回は泊里浜之漁港に御旅所を設けて神輿を休め、その前の広場で、神、神官、氏子総代などによる儀式が行われた。

④ 海上渡御

神(神輿)、神官、総代、御六尺らが港から大漁旗を掲げた漁船に乗り、海を進み麻腐島を折り返して港に戻り下船する。麻腐島を望む海域でいったん船を止め、神事も行われる。

⑤ 郷土芸能の奉納

それぞれの集落で先祖から伝承してきた虎舞、七福神などの郷土芸能を神社本殿前で神に捧げ、儀式関係者、住民に披露すること。一連の行事の中で奉納舞、奉納披露、舞い納、などともいわれる。

⑥ 夜籠り

式年大祭の前日の午後 6 時から翌朝の 5 時まで御六尺は本殿隣の客殿で穢れを払い、神の清めを受ける。これを夜籠り、という。以前は夜中に集落に繰り出し、各家々を回って騒ぎたてたが、近年は自粛されている。

⑦ 才坊振(さいぼうふり)

扇子で踊る役。虎舞の才坊振は虎の動きを抑えたり、虎に睨まれて身構えたりする。こどもの才坊振りは祭りを彩り、かわいい。

⑧ 直会(なおらい)

祭典終了後に行われる慰労会。祭が終わり神と飲食をともにする儀式を経て元にもどる。

⑨ 揃い(そろい)

踊り、笛、太鼓、才坊振りなど個々の練習はそれぞれ別々に繰り返して行われるが、みんなが勢揃いして行う総合リハーサル。通常、前夜に最終リハーサルを兼ねて行うことが多い。今回はみんなが集まりやすい 1 週間前の 10 月 9 日(土)に行われた。